2024 年 10 月 1 日
ヤマトホールディングス株式会社
芙蓉総合リース株式会社

商用車ユーザーの脱炭素化を支援する「EV ライフサイクルサービス」を 10 月 1 日（火）から開始

ヤマトホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長尾裕）傘下のヤマトオートワークス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：金井宏芳、以下「YAW」）は、車両を使用する事業者の脱炭素化に向け、温室効果ガス（以下「GHG」）削減計画の立案から EV・充電器の導入・運用支援、メンテナンス、エネルギーマネジメント、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）供給までワンストップで提供する「EV ライフサイクルサービス」を、2024 年 10 月 1 日（火）から開始します。なお本サービスは、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田寛明、以下「芙蓉リース」）と連携のもと提供します。

記

1. 背景および目的

気候変動の緩和に向けて世界的に取り組みが進むなか、日本においても、2050 年カーボンニュートラル達成に向け、あらゆる業界において様々な脱炭素の取り組みが拡大しています。車両を使用する事業者においては、EV の活用が重要な取り組みの一つとなっていますが、内燃車よりも検討事項が多岐にわたるため、車両の脱炭素化が進んでいない現状があります。

ヤマトグループは、2050 年 GHG 自社排出実質ゼロの実現に向けて、EV 導入や太陽光発電設備の導入など、各取り組みを進めています。2011 年からラストマイルの集配車両の EV 化を開始し、約 2,300 台[※1]の EV を保有しています。また、太陽光発電設備 105 基[※1]の設置や再エネの調達、エネルギーマネジメントシステムの開発などを推進しています。

芙蓉リースグループは、社会課題の解決を通じて企業の持続的な成長を実現する CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）を経営の中心軸に位置づけ、重要な課題（マテリアリティ）の一つとして「脱炭素社会実現への貢献」を掲げ事業活動を通じた CO_2 削減に取り組んでいます。「自社グループの脱炭素化」と「お客さま・社会の脱炭素化」の両輪で取り組みを進め、2018 年に国内の総合リース会社として初めて「RE100（Renewable Energy 100%）」に加盟し、2023 年実績で消費電力の再エネ化率を 85%まで引き上げています。また、再エネ発電事業による再エネ電力の供給や、リース事業などを通じお客さまの再エネ・省エネ設備の導入を推進しています。モビリティ事業分野においては、EV の導入促進を通じて脱炭素化社会実現に貢献しています。

このたび、ヤマトグループ内で EV メンテナンスや充電器設置を実施してきた YAW は、商用車リースに知見を持つ芙蓉リース傘下のヤマトリース株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：尾方直美、以下「YL」）との機能連携のもと、「EV ライフサイクルサービス」を開始します。

2．EV ライフサイクルサービス概要

中長期の目標や現状に応じた GHG 削減計画の立案から EV・充電器の導入・運用支援、メンテナンス、エネルギーマネジメント、再エネ供給までをワンストップで提供します。EV を扱った経験がない事業者でも円滑に EV を導入・運用できるだけでなく、バッテリーの価値を考慮した残価設定や補助金の活用などにより、脱炭素と経済性の両立を実現します。

（1）サービス内容

① GHG 削減計画の立案
車両を使用する事業者の脱炭素目標達成に向け、EV 導入や再エネの活用など、最適な GHG 削減計画を立案します。

② EV・充電器の導入・運用支援
芙蓉リース・YL と連携し、EV・充電器のリース提供と各種補助金の活用を支援します。また、導入台数に応じた最適な充電器の設置レイアウトを提案します。

③ EV・充電器の点検、メンテナンス
YAW の全国 72 の整備拠点※1 において、事業者の EV 稼働を止めることなく、車両の法定点検、メンテナンス、充電器の定期点検を行います。

④ エネルギーマネジメントシステムの提供※2
ヤマトグループが開発したエネルギーマネジメントシステム※3 を用いて、電力使用量の可視化や充電による待機時間の削減、電力使用ピークの緩和、太陽光発電設備・蓄電池との連動を支援します。

⑤ 再エネの供給※2
ヤマトグループが保有する太陽光発電設備由来の電力を含む、再エネを供給します。

⑥ EV 入替・廃棄
車両の再販やバッテリーリサイクルに対応します。

（2）提供開始日

2024 年 10 月 1 日（火）

（3）提供車両

軽バンタイプの EV から取り扱いを開始します。

3．今後について

今後は、新たな車種・車格の拡大やバッテリーのリサイクル、交換式バッテリー対応 EV の取り扱いなど、日本全体の脱炭素化に向けて取り組みを推進していきます。

※1　2024 年 10 月 1 日現在

※2　2025 年度末までにサービス提供予定

※3　NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成事業を活用して開発したものです。
参考プレスリリース：NEDO「グリーンイノベーション基金事業」でグリーンデリバリーの実現に向けた 2 案件が採択（2022 年 7 月 19 日） URL: https://www.yamato-hd.co.jp/news/2022/newsrelease_20220719_1.html

以上

【参考】
・ヤマトオートワークス株式会社
1952 年創業。全国に 72 の整備拠点を持ち、24 時間 365 日ヤマトグループの車両管理に加え、約 1,700 社 のトラック運送事業者などの会員に対し、EV を含め車両メーカーを問わないマルチブランドで車両管理全般から物流施設・設備の管理、保険販売などのトータルサポートを行っています。
URL：https://www.yaw.co.jp/customer/services/ev/

・ヤマトリース株式会社
1977 年 3 月設立、新車・中古車トラックのリースや調達・売却のお手伝いの他、後継者問題やドライバー不足といった運送会社の経営課題に対する支援サービスを提供しています。株主構成は、芙蓉総合リース株式会社 60%、ヤマトホールディングス株式会社 40%です。（2024 年 10 月 1 日現在）
URL: https://www.yamatolease.co.jp/

【お問い合わせ先】
＜法人の方＞
ヤマトオートワークス株式会社　TEL：03-5117-8915　MAIL：y5600341@kuronekoyamato.co.jp

＜報道関係の方＞
ヤマトホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション戦略担当　TEL：03-3248-5822
芙蓉総合リース株式会社　経営企画部コーポレートコミュニケーション室　TEL：03-5275-8891